

2017年6月

JR東日本リネン株式会社

第一期中期環境目標（目標年度2015年度）の取り組み結果と第二期計画について

1 第一期計画の取り組み結果

	項目	目標	2009年度	2015年度	増減率	評価
1	CO <sub>2</sub> 排出量 (電力除く)	2009年度比10%削減	3,530.0 (tCO <sub>2</sub> )	3,890.5 (tCO <sub>2</sub> )	10.2%増	×
	電力使用量	2009年度比10%削減	1,780.6 (千kwh)	1,707.5 (千kwh)	4.1%減	×
2	水資源使用量	2009年度比10%削減	152.8 (千m <sup>3</sup> )	116.2 (千m <sup>3</sup> )	23.9%減	○
3	グリーン購入比率	70%	52.0%	88.5%	—	○
	再生紙使用率	100%	95.6%	97.0%	—	×
4	産業廃棄物排出量 (リサイクル分を除く)	2009年度比30%削減	99.52 t	22.51 t	77.4%減	○
5	一般廃棄物再利用比率	85%	79.3%	87.6%	—	○
6	大気や水資源の汚染 防止の取り組み	環境関係諸法令、各県等 環境条例の遵守	関係法令 を遵守	関係法令 を遵守	—	○
7	環境意識の高揚等	環境問題への取り組みに 関する教育の実施	教育を実 施	教育を実 施	—	○
8	環境保全活動等	植樹、地域の清掃活動に 参加	参加	参加	—	○

## 2 第一期計画の具体的な取り組み内容と第二期計画の基本的な考え方

※詳細については「第一期中期環境報告書（目標年度2015年度）」を参照

### (1) CO<sub>2</sub>排出量（×）、電力使用量（×）

主として直営3工場において、工場設備の効率的な稼働に努め、生産量調整による工場休業日の実施、電気使用量の削減策としての蛍光灯の削減や照明器具のLED化、燃料使用削減策としてのボイラー稼働時間短縮や給水・温水タンクへの保温材使用、アイドリングストップによる走行用燃料の削減等に取り組んできました。

しかしながら一方で当社事業の拡大に伴い、営業収益が2009年度32億円から2015年度40億円へと25%増加したため、結果として電力使用量は4.1%の減に止まるとともに、電力使用量を除いた全社のCO<sub>2</sub>排出量は2009年度と比較して10.2%の増加となってしまいました。

営業収益1億円あたりで比較すると、単価あたりのCO<sub>2</sub>排出量は110.3tCO<sub>2</sub>から97.3tCO<sub>2</sub>に11.8%の減となりましたが、総排出量としての目標値（10%減）は達成することが出来ませんでした。

今後も事業の拡大が考えられることから、第二期以降の計画は、営業収益あたりのエネルギー使用原単位の削減に取り組んでいくこととします。

### (2) 水資源使用量（○）

仙台、埼玉両工場において洗濯排水の再利用をによる節水対策等を行った結果、水資源使用量は10%減の目標に対して23.9%の減となり目標を上回りました。水資源の削減は重要な課題であるため、今後も引き続きその削減に取り組んでまいります。

### (3) 購入品のグリーン購入比率（○）、再生紙使用率（×）

グリーン購入比率は各箇所で積極的に文具事務用品等のグリーン購入に取り組んだ結果、70%の目標に対して88.5%と目標を大きく上回りました。一方、再生紙利用率について、コピー用紙は100%を達成しましたが伝票類を含む紙全体では97.0%となりました。今後は関係する取引会社と協議し、伝票類の再生紙利用率向上に取り組んでまいります。

### (4) 産業廃棄物排出量（リサイクル分を除く）（○）

重油貯蔵量の見直し、備品類の延命使用及び金属くず等廃棄物等の再利用を積極的に行った結果、リサイクル分を除いた産業廃棄物の排出量は99tから22.5tの77.4%減となり、目標の30%減を大きく上回りました。今後も引き続き産業廃棄物排出量の削減に取り組んでまいります。

### (5) 一般廃棄物再利用率（○）

廃品リネンの販売や加工、納品梱包段ボールの再利用等を積極的に行った結果、一般廃棄物再利用率は87.6%となり目標の85%を上回りました。今後も引き続き一般廃棄物の再利用率向上に取り組んでまいります。

(6) 環境関係諸法令の遵守 (○)

大気汚染防止法に基づくばい煙測定、下水道法等に基づく水質検査等は確実に行われました。また廃PCBにおいても法律等に則り厳重に保管されています。今後も引き続き環境関係諸法令の遵守に取り組んでまいります。

(7) 環境に関する全社員教育 (○)

支店、工場等各部門毎に環境問題に関する勉強会を実施、目標達成に向けて取り組むべき事柄を再確認しました。

(8) 環境イベントや地域社会への貢献活動への参加 (○)

JR東日本主催の植樹祭等への参加及び建物付近の除草や除雪対策、地域と連携して環境整備を実施しました。

3 第二期中期環境目標（目標年度2021年度）

- (1) 事業活動で使用するエネルギー使用原単位（原油換算 kl/営業収益（億円））の5%削減を目指します。
- (2) 水資源使用量の5%削減を目指します。
- (3) 購入品（印刷・情報用紙、文具・事務用品）のグリーン購入比率95%、再生紙利用率100%を目指します。
- (4) 産業廃棄物排出量（リサイクル分を除く）の15%削減を目指します。
- (5) 一般廃棄物の再利用比率95%を目指します。
- (6) 環境関係諸法令や各県等環境条例を遵守し、大気汚染や水資源の汚染防止に努めるとともに、オゾン層破壊物質やPCB等の適正な管理に努めます。
- (7) 全社員を対象とした環境に関する教育を毎年度1回以上実施し、環境意識の高揚を図ります。
- (8) 地域の清掃活動への参加など、環境イベントや地域社会への貢献活動に毎年度1回以上参加し、地域との連携を図ります。

（注）削減目標は2016年度を基準年度とし、削減目標値を設定しています。

以 上